



# 改善・再発防止策の進捗状況について

---

一般社団法人全国銀行資金決済ネットワーク

2025年1月10日



# 改善・再発防止策の進捗状況

課題	主な改善・再発防止策	進捗状況
委託者としての マネジメント不十分	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベンダーにおける設計のレビュー体制や試験内容の十分性の確認を行う委託先管理の体制整備</li> <li>東阪同時障害や加盟金融機関影響を踏まえた移行方法・時期の検討</li> <li>障害復旧対応に係る優先順位の整理、適切なタイムマネジメントについてマニュアル化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベンダマネジメント向上等に資する第8次全銀システム（8Z）の契約スキームを整理</li> <li>「東阪両系障害対応訓練」の振り返りを実施し、改善点等を整理</li> </ul>
加盟金融機関も含めた BCPの実効性不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要なコンティンジェンシープランの策定、移行時の必要十分な人員体制の整備</li> <li>代替手段に係る運用ルールの整備・強化</li> <li>代替手段運用訓練のシナリオの見直し等、実践的な訓練を通じた実効的なBCP確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「センター代行発信・受信代行運用訓練」は予定どおり進捗（8回中7回実施。140行中111行が実施済）</li> <li>「欠送・二重発信確認対応訓練」を2回に分けて実施。実施結果等を踏まえ、来年度上期中を目途に再度訓練を実施予定</li> <li>情報連携方法の高度化として、加盟金融機関との情報共有ツール導入について検討中</li> </ul>
大規模障害を想定した 全銀ネットにおける 危機管理体制の脆弱性	<ul style="list-style-type: none"> <li>加盟金融機関とのお客さまを意識した対外公表内容の事前整理・マニュアル化</li> <li>大規模障害時の全銀ネットにおける対応体制・役割分担の明確化</li> <li>全銀ネット内部の研修・訓練に大規模障害を想定した内容を追加し実効的な体制を構築</li> </ul>	
システム人材の不足と 組織の脆弱性	<ul style="list-style-type: none"> <li>人材強化、加盟金融機関からの出向受入・外部採用</li> <li>CIOの設置による体制強化、IT・システム関連の委員会設置など検討体制の見直し</li> <li>第三者評価における実効性あるチェックの重視</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全銀ネットの開発体制の強化を検討。開発経験を有するIT技術者複数名の確保に向けた対応を実施</li> <li>ITシステム委員会等の意見等も踏まえ、8Zの要件定義書・プロジェクト計画書を策定</li> </ul>



# (参考) NTTデータにおける改善・再発防止策の進捗状況

- NTTデータの各改善・再発防止策については、全銀ネットにおいて以下のとおり進捗状況を確認。

課題	主な改善・再発防止策	進捗状況
設計・製造工程プロセスの課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>プログラム修正方針を詳細設計関係者含めて判断するようプロセスを変更</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>左記観点を反映した開発実施要領にもとづき、APIGW開発・ZEDI更改のプロジェクトを進行中</li> </ul>
試験工程プロセスの課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな基盤環境のテーブルの正当性を確認するため、変更対象外のテーブルについても、新旧テーブルのコンペアを実施</li> <li>本番環境を想定した、実取引相当の商用データを用いた疎通試験を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>同開発実施要領にもとづき、8Z開発の品質管理実施要領を整理・策定</li> </ul>
復旧対応プロセスの課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>障害発生時の復旧ガイドラインの策定</li> <li>同ガイドラインにもとづく実践的な訓練の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東阪同時故障を想定したブラインド訓練の達成状況を評価のうえ、改善事項を整理</li> </ul>
再発防止策に対する歯止め	<ul style="list-style-type: none"> <li>基盤更改等に対する品質保証の観点から、OS非互換の計画段階から非機能観点の知識を持つ基盤人材の参画</li> <li>NTTデータおよびグループ会社が重要な開発プロセスを分担することで、当該プロセスの実態を把握し、トラブル時の復旧対応におけるフィージビリティの感度を高める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>APIGW開発、ZEDI更改の進捗状況に応じ、体制を整備（継続）</li> <li>左記観点を踏まえて、8Zの開発品質を確保する開発体制を構築し、開発に着手</li> </ul>